

歳末たすけあい運動

募集期間
12月1日～12月28日

歳末たすけあい運動は、このまちで誰もが安心して暮らせるよう、地域の様々な福祉活動に活用させていただいております。今年も皆様のあたたかいお気持ちをお寄せいただきますようご協力をよろしくお願いいたします。



※昨年の様子

在宅介護者世帯見舞品、ひとりぐらし高齢者交流会 885,500円

在宅障害者成人祝品、障害者援護事業助成金 420,000円

事務費 318,273円

市民活動まつり 200,000円

令和元年度歳末たすけあい募金額
5,162,417円

桜町市民いこいの家運営費 588,644円

福祉団体助成金 (小悠連、子ども会など) 500,000円

町会・自治会活動助成金 850,000円

NPO支援資金助成事業、ひきこもり相談、ふれあいいきいきサロン活動助成金 1,400,000円

※昨年の様子

加入方法

①窓口
②町会・自治会で取りまとめている地域もございます。
③お振込

■振込先
東京むさし農業協同組合 小金井支店
口座番号 0330373
口座種別 普通貯金
口座名義 (フク)コガネインシヤカイフクシキョウギカイ
社会福祉法人 小金井市社会福祉協議会
ヨシズ ヤスユキ
芳須
※領収書が必要な方はご連絡をお願いします。

募金活動は、主に町会・自治会を通じて各家庭に呼びかけ、取りまとめているしております。

【はねっと】募金の使途情報を公開しています。
<http://hanett.akaihane.or.jp/hanett/pub/home.do>

問合せ先 地域福祉係 ☎042-386-0294

令和2年度 市民活動助成金“さくらファンド”報告

さくらファンドは「歳末たすけあい運動」による市民の皆様からの募金を財源に、市民団体へ助成を行う事業です。今年度のさくらファンドは5月、8月と2回募集を行い、合わせて15団体へ、総額745,000円の助成を行いました。備品の購入や講座実施のために活用される予定です。

第1次	団体名
1	小金井市対面朗読の会
2	黄金ネットワーク(障がい児の父親の会)
3	特定非営利活動法人ひ・ろ・こらぼ
4	こきんダイナー(孤食予防食堂)
5	KOKOぶらねっと
6	高次脳機能障害者小金井友の会
7	親子おさんぽ広場
8	小金井子育て・子育て支援ネットワーク協議会
9	NPO法人ファミリーステーション・SACHI
10	なないろ勉強会
第2次	団体名
1	小金井史談会
2	こごうちぶんこ・ことりのへや
3	特定非営利活動法人ぶどうの木
4	のびのび子育て
5	はげの自然と文化をまもる会

福祉体験学習に協力しています

ボランティア・市民活動センターでは、学校で実施されている福祉体験に車椅子の貸出や指導、講師の紹介などといった形で協力しています。新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を講じながら行うため、例年とは異なる体験内容となっております。

この体験学習で初めて車椅子に触れる児童・生徒もたくさんいます。体験後には「思ったより速く感じた」「ちょっとした段差でも車椅子が進むことができないなんて」「前輪を持ち上げるのが難しい」などと、体験しての新たな気付きや感想をいただきました。児童・生徒にとって記憶に残る体験となるよう、福祉教育をすすめていきたいと思っております。



社協だより

福祉こがねい

令和2年12月1日 No.130

発行 社会福祉法人小金井市社会福祉協議会(社協)
 発行日 令和2年12月1日
 〒184-0004小金井市本町5-36-17 電話 042(386)0294
 FAX 042(386)1294
 http://koganei-cos.org
 k-shakyo@jcom.home.ne.jp
 ●ボランティア・市民活動センター ☎042(387)0011
 ●権利擁護センターふくしネットこがねい ☎042(386)0121
 ●福祉総合相談窓口(自立相談サポートセンター) ☎042(386)0295
 ●にし地域包括支援センター ☎042(386)7373
 ●市民協働支援センター準備室 ☎042(385)7767 (FAX兼)
 ●桜町市民いこいの家 ☎042(316)6486(火・水・木) (FAX兼)
 ホームページアドレス: http://sakura-ikoijimdo.com

小金井市 福祉総合相談窓口

◆年齢や障がいの有無などにかかわらず、すべての方が対象です。
 ◆生活上のさまざまな不安や課題を丸ごと受け入れる福祉の総合相談窓口です。
 ◆本人、家族、関係者、どこに相談したらよいか不明な方、お気軽にご相談ください。
 専門員(地域福祉コーディネーター)が相談に応じます。まずは電話で相談の予約をお願いします。

例え

- ・失業後、なかなか仕事が見つからず、家賃が払えない。
- ・ひきこもりの家族がいる。将来のことが心配。
- ・計画的にお金が使えず、生活に困ることがある。
- ・住むところがない、失うおそれがある。
- ・税金を滞納している。
- ・地域活動を始めたい。

受付時間 8:30～17:00 (土・日・祝日・年末年始を除く)
 休日窓口 原則第1日曜日 9:00～13:00 (市役所の休日窓口第1開庁日に準ずる)
 電話 042-386-0295
 FAX 042-386-1294
 所在地 小金井市本町5-36-17 (小金井市社会福祉協議会内)

主な事業内容

◆福祉総合相談(生活困窮者自立相談を含む)
 生活の困りごとや不安を抱えている場合は、まずはご相談ください。適切な支援と一緒に考え、具体的な支援プランを作成し、寄り添いながら就労、居住などの自立に向けた支援を行います。複合的な課題については、関係機関と連携して包括的な支援を行います。
 (住居確保給付金の支給(家賃補助))
 離職や休業等に伴う収入の減少により、住居を失った方または失うおそれのある方に、原則3か月間(最長9か月間)、家賃相当額(上限あり)を支給します。収入基準額等の支給要件があります。

〈家計改善支援〉
 日常のお金の使い方の見直しや、収支のバランスなどについてアドバイスをし、安定した家計管理が行えるように支援します。
 要件に該当する場合は、公的制度や貸付など他制度も紹介します。
 ◆ひきこもり相談(随時受付)
 毎月第4火曜日(10:30～13:00)要予約
 ※上記相談日のほかに随時専門員による相談も行っています。
 ◆地域活動支援
 地域共生社会の実現に向け、地域の資源との連携やネットワークづくりなどの地域活動を支援します。 ※この窓口は小金井市が設置し、小金井市社会福祉協議会が運営を受託しています。

生活福祉資金教育支援資金貸付

高校・大学・専門学校等に進学・通学するに
 あたり入学金・授業料等の貸付(無利子)を行う制度です。

教育支援費(授業料等費用)貸付内容	返済期間:14年(卒業後)借受人:学生本人連帯借受人:世帯の生計中心者 利子:無利子				
	基本貸付上限額(月額上限額) ※1	・高校・専修学校(高等課程)	・高等専門学校	・短期大学・専門職短大・専修学校(専門課程)	・大学・専門職大学
特に必要な場合(月額上限額) ※2	35,000円	60,000円	60,000円	65,000円	97,500円
入学金・授業料(入学金のみ) ※1	500,000円				

※1 必要な学費内の対象費用分の貸付となります。 ※2 通常の貸付上限額では学費が不足する場合は、貸付上限額の1.5倍まで貸付を行います。・借入申込者が就学に際しての熱意や将来への計画性を持っていることが条件となります。

低所得世帯であること、世帯収入で生計維持が可能な状況であること、他の公的な制度との資金とを併せて学費が工面できること、未払いの学費であることが大まかな必須条件となります。また「高等教育無償化による授業料や入学金の減免」「給付型奨学金」「無利子奨学金(JASSO第一種)」を受けられる場合には必ず利用していただく必要があります。それら以外にも細かい対象要件がありますのでまずはご相談下さい。

問合せ先 生活福祉資金担当 ☎042-386-0295

受験生チャレンジ支援貸付事業

中学3年生・高校3年生等のお子さんをお持ちの一定所得以下の世帯に
学習塾等受講料、高校・大学等受験料の貸付を行っています。

今年度の申請受付は 令和3年2月5日(金)まで

東京では、一定所得以下の世帯の子どもたちへの支援を目的に、受験生チャレンジ支援貸付事業を行っています。

学習塾等受講料貸付金	高校受験料貸付金	大学受験料等貸付金
中学3年生・高校3年生等 200,000円以内	27,400円(上限) (1校あたり 23,000円・4回まで)	80,000円(上限) (回数や1回あたりの上限の定めなし)

※貸付対象となる学校へ入学した場合等、申請により返済が免除されます。

問合せ先 受験生チャレンジ支援貸付事業担当 ☎042-386-0295

「ひきこもりで悩む家族が集う場所」開催のご案内

ひきこもりがちな家族がいる方の集う場所です。同じ悩みを共有し、気持ちが軽くなることを目的とし、令和2年11月よりスタートしました。お気軽にご参加ください。

次回日時 12月8日(火)10:00～12:00 ※毎月第二火曜日開催
 定員 10名
 参加費 無料(要予約)
 開催場所 小金井市社会福祉協議会B会議室
 申込・問合せ先 福祉総合相談窓口 ☎042-386-0295

